

# こうなん市議会だより

NO.49

平成30年12月1日発行



夜須小中合同体育祭

9月  
定例会

- ◎議案質疑 ……………P2
- ◎審議した議案 ……………P7
- ◎一般質問 ……………P8
- ◎各委員会の開催状況 ……P22

# 平成30年 香南市議会9月定例会

## 議案質疑

9月定例会は、9月3日から9月21日まで開催され、専決処分の報告と平成29年度香南市一般会計決算認定、平成30年度香南市一般会計補正予算（第3号）など21議案が審議された結果、平成29年度決算認定については、決算審査特別委員会に付託し継続審査となった。その他の議案はいずれも全員賛成・賛成多数で可決された。

主な質疑の内容は以下のとおり。

### 報告第10号

専決処分の報告  
（公用車の事故）

5月18日に公用車が信号待ちから発進する際、前方確認不十分により、市内男性が運転する車両の後方部分に接触したもので、損害賠償の額は4万8870円。

### 問

事故を繰り返す職員からは損害賠償も

議会のたびに事故の報告があ

り、職員の注意散漫ではないか。職員の意識づけにどのように対応していくか。

賠償金については保険から出るが、仮に事故を繰り返す職員がいれば、地方自治法に基づく損害賠償の請求もできると思う。職員にもそれぐらいの自覚を持たせるべきだ。

### 答 繰り返しを チェックしていく

小松 総務課長

事故が目立ってきたときには、注意喚起を回覧等で周知しているが、今後も啓発に努めていくとともに、庁議等で徹底していく。

同じ職員が繰り返しているかはチェックすべきであり、職員研修等を通じきちんとしていきたい。

### 問 ドライブレコーダー は付いているか

公務車両には全部ドライブレコーダーが付いているか。それを見ながら事故状況の把握をしているか。

### 答 計画的に 取り付けを検討

寺内 住宅管財課長

最近購入した車には全て付けているが、古いものについては、予算も見ながら計画的に検討していきたい。



### 報告第12号

専決処分の報告  
（建設主体工事費の増額）

吉川町防災コミュニケーションセンター建築主体工事において、工法や窓ガラス仕様の変更、仕切り建具の追加等により1755万円の増額をするもの。

### 問 当初の設計協議は 十分だったか

建設の過程で要望を聞き、より使いやすいように部分的な設計変更をするということなら分かるが、大がかりな変更をするというのが分からない。

コミュニケーションセンターに支所と市民館が入ることは、計画当初から分かっており、設計業者と執行部、人権課も含めて十分な連携をとり、設計協議はされていたか。

### 答 施設を使用・管理する 課とも十分な協議を

野島 防災対策課長

当初の設計では関係各課と協議をして設計内容をまとめたが、人権課も含め関係課との協議を重ねながら施工する中で、より良いものという意見が出されて変更した箇所もある。

今後は、事前の実施設計の段階で施設を使用・管理する課とも十分な協議を重ねて設計に反映したい。



西佐古テニス&フットサルパーク

議案第100号

香南市スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

子育て支援センターの建設により西野ゴールドテニス場を廃止し、野市町西佐古にテニス&フットサルパークを新設するのに伴い、スポーツ施設の名称及び位置を定めるもの。

**問** テニスとフットサルの使い分けは

テニスとフットサルをどのように使い分けるのか。  
また、市民への周知方法は。

**答** テニスが優先される

田中 生涯学習課長

テニスは、スポーツ少年団や体育協会の団体が利用しており、利用日の2カ月前の20日から25日の受け付けになる。現在フットサルの利用者は、体育協会や登録団体ではないので、一般の利用者と同様1カ月前の21日からの受け付けとなり、テニスが優先されることとなる。

多くの人が利用してもらえよう、利用状況を見ながらお互いが利用しやすい施設にしていきたい。

市民への周知方法は、市の広報やホームページ、ケーブルテレビ等で紹介していく。  
フットサルの専用施設が不足している状況であり、市外の体育施設へもチラシを配布するなど、周知していきたい。

**問** スパイクの使用など要項はあるのか

フットサルよりもテニスの使用を優先すると言いが、要項は作っているのか。  
スパイクを履くとコートが非常に傷むと思うが、フットサル

の使用規程にも盛り込むべきでは。

**答** 早急に規程を定めていく

田中 生涯学習課長

西野ゴールドテニス場の代替施設として建設したので、テニスの利用を優先するという考えだが、フットサルの利用者にも意向を聞いた上で、シューズや運営方法についても、スポーツ審議会に諮って早急に規程を定めていきたい。

議案第104号

平成30年度香南市一般会計補正予算(第3号)  
歳入歳出それぞれ9億3129万1千円を追加し、予算の総額を212億9107万4千円とするもの。

**問** なぜこれほどの差があるのか

自家給油設備整備事業について、登記簿の面積と実測が大幅に違い、約2400万円の補正予算を組む必要が出たということだが、その原因と再発防止策は。

**答** 公簿をつのみにし面積を割り出さなかった

山崎 消防長

当初予算では公簿の面積365・33平米を参照し、1300万円を計上していたが、測量を実施したところ78・94平米であった。他の自家給油設備を参考に、必要な距離及び車両の旋回スペース等を計測し、整備のためのスペースは確保できると判断した。その際、必要面積まで割り出せばよかったが、公簿の面積をつのみにし、見た目による面積の違いに誰も気づかなかつたことが原因だ。

今後は、全ての事業において今以上に細心の注意を払い、ミスをなくすよう努めていく。

**問** グランドデザイン策定に市はどう関わる

ヤ・シイパークグランドデザイン策定の委託に当たって、市も基本コンセプトを持っていると思うが、活性化協議会の中でどのように関わっていくのか。  
県・市の予算をつぎ込んだ事業が、周辺住民の経済的な利益にどのように還元されていくか

という広がりも考えてもらいたい。

**答** 県・市・関係団体に連携して

小松 商工水産課長

グランドデザインは、本年度中に策定し、予算500万のうち3分の2は県の観光拠点等整備事業費補助金になっている。補助金の関係で市が事業主体となっているが、市が単独で策定することではない。

事業内容は、県・市・関係団体で組織するヤ・シイパーク活性化推進協議会で議論しており、自然景観を活用した観光基盤整備を行うに当たり、体験滞在型の基本構想と動線計画の策定を行う。

具体的には観光コンテンツ機能や回遊ネットワークと空間提供機能、公園機能、商業施設機能等の整備計画のスケジュールや、概算事業費の積算などを行う。

### 問 サップ利用の 見込みは

体験型観光資源強化事業としてマリンスポーツの体験事業費240万9千円を計上しているが、サップ7艇購入の根拠と利用見込み、利用料はどうなっているか。

### 【サップとは】

Stand Up Paddle (スタンドアップパドル)の略で、非常に安定感がある大きめのサーフボードのようなボートに立ってパドルで漕ぐスポーツ。



### 答 地域周辺のPRも 積極的に

田中 生涯学習課長

ヤ・シィパークを訪れた観光客がサップ体験をしたり、手軽にヨットに乗船できるよつに、ビッグサップを浮桟橋がわりに活用するほか、家族や団体利用を見込み、2人から8人乗りのサップ7艇などの購入費用を計上している。

利用料は考えておらず、体験

プログラム等の参加費として徴収する予定だ。

マリンスポーツを身近に感じてもらい、海の駅クラブや関係機関と連携して地域周辺のPRなども積極的にを行い、ヤ・シィパーク全体の活性化に努めていきたい。

### 問 施工・発注の瑕疵 はないか

小中学校のブロック塀改修について、宮城県沖地震の後1981年に政令が改正されており、それ以降に施工されたものの中で、業者の施工や発注の瑕疵によるものはないか。



改修済みブロック塀(岸本小学校)

### 答 基準に適合していた かも特定できない

山本 学校教育課長

ほとんどの小中学校でブロック塀の設置時期が不明となっており、当時の基準に適合していたかどうかも特定できないのが現状だ。

多くのブロック塀で控え壁の間隔が離れ過ぎていたり、設置されておらず、現在既に改修を行ったブロック塀もあるが、残っているものも設計業務を行う順次改修を行っていく。

### 問 熱中症計による 調査結果は

小中学校の空調整備について、熱中症計での計測により今後検討していくということだったが、調査結果はどうなっているか。

また、設置後の温度設定や運転基準を学校保健計画にも盛り込む必要があると思うが、どうなっているか。

### 答 7月はほとんどの 学校で「嚴重警戒」

山本 学校教育課長

教室等の教育環境の把握と熱

中症対策に活用するため、昨年7月に全ての小中学校に熱中症計を設置した。運動に関する指針では、暑さ指数が28℃から30℃のときは激しい運動を中止する「嚴重警戒」、31℃以上で運動を中止する「原則中止」となっており、その日数の報告を受けようとしている。

9月18日現在で、香我美小学校で6月に嚴重警戒が9日、7月に嚴重警戒が4日と原則中止が6日、9月に嚴重警戒が8日。

また、夜須中学校では6月に嚴重警戒が21日、7月に原則中止が22日、8月に嚴重警戒が3日と原則中止が14日、9月に嚴重警戒が6日と報告されている。

測定場所や時間により報告の少ない学校もあるが、7月はほとんどの学校から嚴重警戒の報告があり、学校保健の面から、かなり厳しい学習環境である。

### 問 ハウス復旧の 上乗せはあるか

農業用施設災害復旧費の詳細な説明と、昨年度の農業災害では、農業ハウスの被害が多く、市独自の上乗せを行ったが、今回はどうなるか。

### 答 ハウス本体の被害も 少なく検討していない

村山 農林課長

農業用施設災害復旧事業1億円では、農道8件、水路12件、頭首工4件の災害復旧事業に係る工事費を計上している。

昨年は台風21号の被災が離農の要因とならないよう、園芸用ハウス整備事業の災害復旧区分での補助率を上乗せしたが、今回は豪雨でのハウス本体への被害が少なく、また、園芸用ハウス整備事業で対応できる項目も少ないことから、上乗せは検討していない。

ただ、農林水産省被災農業者向け経営体支援事業で対応できるものは進めていきたい。

### 問 漁協関係者との 協議はしているか

漁協管理費の委託料1700万円は災害による流木等の回収と思つが、高知県漁協の各支所へ委託をするのか、掃海業者か。基幹産業の1つであるバッチ網も流木等で網が破れ、その間出ていけなかったという話も聞いている。その辺は漁協関係者と商工水産課は話をしているか。

### 答 採択に向け水産 主務課長会議で

小松 商工水産課長

市の管理する海岸の漂着に係るもので勘案しており、住吉海岸と住吉漁港海岸で1500万円、吉川漁港海岸が200万円で計上している。委託先は、漂着流木を処理する業者になる。

今回は県内の被害を受けており、水産主務課長会議で掃海事業等の採択に向けて話し合いを持っていきたい。

### 産業建設常任委員会審査

条例の廃止1議案が付託され、審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決定した。主な質疑内容は以下のとおり。

議案第99号

香南市三宝山観光拠点化基本計画検討委員会設置条例を廃止する条例

基本計画が策定されたので、現行の香南市三宝山観光拠点化基本計画検討委員会設置条例を

廃止するもの。

### 問

子育てファミリーをターゲットにしたコンセプトは維持するか。

### 答

小松 商工水産課長  
変更ない。

### 問

基本計画の年間利用者15万人という目標も継続するの。

### 答

小松 商工水産課長  
変更ない。

### 教育民生常任委員会審査



条例の改正4議案と30年度特別会計補正予算3議案が付託され、審査した結果、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。

主な質疑内容は以下のとおり。

議案第100号

香南市スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

フットサルで使用するシューズ等によっては、コートが荒れると思われる

が、条例第14条の原状回復義務との関係、その管理はどのように考えているか。

田中 生涯学習課長

サッカーシューズは禁止など、利用上の決まり事を明文化し、利用者に配布する。

### 問

フットサルでテニスコート1面を利用する場合でも、テニスコート2面を利用するのと同じ使用料なのか。

田中 生涯学習課長

フットサルでテニスコート1面を利用する場合でも、テニスコート2面を利用するのと同じ使用料なのか。

西野ゴールドテニス場の項目を削除し、佐古テニス&フットサルパークの使用料を追加するもの。

議案第101号

香南市使用料条例の一部を改正する条例

家庭労働省令が改正されたことに伴い、家庭的保育事業等の連携施設及び食事の提供に関する規定について所要の改正を行うもの。

第7条の中で、家庭的保育事業者等は、「連携協力を行う保育所」という文言があり、立地関係・位置関係の近いところがあると思うが、この連携協力とはどのようなものを想定しているのか。

山下 子育て課長

家庭的保育事業者等はゼロ歳から2歳までの保育が主流で、3歳、4歳、5歳の保育の受け皿となることの一つと、今回の改正で代替保育が必要となった場合の連携を想定している。

フットサルで使用するシューズ等によっては、コートが荒れると思われる

フットサルで使用するシューズ等によっては、コートが荒れると思われる

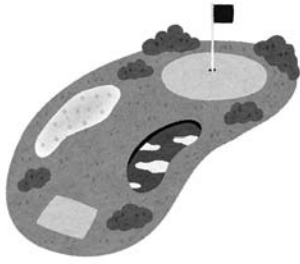
**発議第6号**

ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書

提出者 志磨村公夫  
賛成者 片山透  
賛成者 中屋和彦

ゴルフ場利用税は、都道府県税として納付され、その7割がゴルフ場の所在市町村にゴルフ場利用税交付金として交付されている。その規模は28年度決算で、全国で35億円。

本市の交付金額は、29年度決算額で33558万円であり、貴重な財源となっている。現行制度が存続されるよう強く要望するもの。



**発議第7号**

義務・高校標準法を改正し、抜本的な教職員定数増を求める意見書

提出者 樽本富佐子  
賛成者 斉藤朋子  
賛成者 馴田文雄

1、国の責任で、教職員定数増をすすめること。  
2、義務及び高校標準法を改正し教職員定数改善計画を策定すること。



**発議第8号**

「国の責任による35人以下学級の前進」を求める意見書

提出者 樽本富佐子  
賛成者 斉藤朋子  
賛成者 馴田文雄

1、国の責任で、小学校3年生以降の35人以下学級を計画的に前進させること。  
2、国は35人以下学級実現のため、標準法を改正して教職員定数改善計画を立てること。

**発議第9号**

国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付奨学金制度の確立を求める意見書

提出者 馴田文雄  
賛成者 斉藤朋子  
賛成者 樽本富佐子

1、国は教育予算を増やして、「高等学校等就学支援金」への所得制限をやめて「高校無償化」を復活すること。  
2、国は教育予算を増やして、「高校生等奨学給付金（奨学のための給付金）」を拡充して、高

校生に対する給付制奨学金制度を確立すること。

**発議第10号**

「大学生への給付奨学金制度の拡充」を求める意見書

提出者 馴田文雄  
賛成者 斉藤朋子  
賛成者 樽本富佐子

国は、教育予算を増やして、大学生に対する給付奨学金制度を拡充すること。

**問**

なぜ大学生だけなのか。学びの場というのは専門学校もあるが。

**答**

まずは大学生を対象にするという趣旨。

**発議第11号**

特別支援学校の設置基準の策定及び特別支援学級の学級編制標準の改善を求める意見書

提出者 馴田文雄  
賛成者 斉藤朋子  
賛成者 樽本富佐子

1、特別支援学校の設置基準を策定すること。  
2、特別支援学級の学級編制標準を改善すること。

**発議第12号**

「給食費の無償化」を求める意見書

提出者 西内治水  
賛成者 上田瀧雄  
賛成者 中屋和彦

国の責任で、給食費の無償化を行うこと。



# 審議した議案

## 9月定例会の審議結果

- 専決処分報告
- 平成29年度香南市一般会計決算認定 (4件)
- 平成29年度香南市国民健康保険特別会計決算認定
- 平成29年度香南市後期高齢者医療保険特別会計決算認定
- 平成29年度香南市介護保険特別会計決算認定
- 平成29年度香南市工業団地造成事業特別会計決算認定
- 平成29年度香南市簡易水道事業特別会計決算認定
- 平成29年度香南市農業集落排水事業特別会計決算認定
- 平成29年度香南市漁業集落排水事業特別会計決算認定
- 平成29年度香南市水道事業会計決算認定
- 平成29年度香南市工業用水道事業会計決算認定
- 香南市三宝山観光拠点化基本

計画検討委員会設置条例を廃止する条例  
(全員賛成＝可決)

香南市スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例  
(賛成多数＝可決)

香南市使用料条例の一部を改正する条例  
(賛成多数＝可決)

香南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
(賛成多数＝可決)

香南市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例  
(賛成多数＝可決)

平成30年度香南市一般会計補正予算(第3号)  
(賛成多数＝可決)

平成30年度香南市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)  
(賛成多数＝可決)

平成30年度香南市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)  
(賛成多数＝可決)

平成30年度香南市介護保険特別会計補正予算(第1号)  
(賛成多数＝可決)

香南市総合子育て支援センター建設工事(建築主体)請負契約の締結  
(全員賛成＝可決)

### 【発議】

ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書  
(全員賛成＝可決)

義務・高校標準法を改正し、抜本的な教職員定数増を求める意見書  
(賛成多数＝可決)

「国の責任による35人以下学級の前進」を求める意見書  
(賛成多数＝可決)

「国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付奨学金制度の確立を求める意見書  
(賛成多数＝可決)

「大学生への給付奨学金制度の拡充」を求める意見書  
(賛成少数＝否決)

特別支援学校の設置基準の策定及び特別支援学級の学級編成標準の改善を求める意見書  
(賛成多数＝可決)

「給食費の無償化」を求める意見書  
(賛成少数＝否決)

### 第80回定例会 審議結果 (全員賛成以外のもの)

議案	結果	林	志磨村	宮城	眞辺	西内	上田	片山	北本	濱口	樽本	馴田	岡本	中屋	山本	宮崎	土居	斉藤	小泉	山中
議案第100号 香南市スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第101号 香南市使用料条例の一部を改正する条例	可決	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
発議第7号 義務・高校標準法を改正し、抜本的な教職員定数増を求める意見書	可決	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議長
発議第8号 「国の責任による35人以下学級の前進」を求める意見書	否決	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	議長
発議第9号 国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付奨学金制度の確立を求める意見書	否決	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	議長
発議第10号 「大学生への給付奨学金制度の拡充」を求める意見書	否決	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	議長
発議第11号 特別支援学校の設置基準の策定及び特別支援学級の学級編成標準の改善を求める意見書	可決	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	議長
発議第12号 「給食費の無償化」を求める意見書	否決	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	×	×	×	議長

※「○」は賛成。「×」は反対。議長の賛否は、可否同数につき議長裁決を行った場合のみ掲載しています。

# 市政を問う 一般質問 15人が登壇

## 防災関連



宮城 正樹議員

### 問 建設機械等への燃料供給は

災害時にはライフライン復旧に当たる車両の燃料確保が大きな問題となる。津波等で民間の供給施設が不能となった場合には消防車両や救急車、市の公用車以外にも、復旧に当たる建設機械等への市の自家給油設備での給油も可能か。

### 答 状況を見て判断

山崎 消防長

南海トラフ地震等の大規模災害が発生した場合には、燃料をはじめとする物流が途絶し、災害復旧に大きな支障を来すことが予想される。

災害復旧に従事する車両や重機への給油は、災害の規模や種類によって様々な状況が想定されることから、その時の被災状況、インフラや物流の状況等を総合的に判断し対応する。

### 問 救助用資機材の整備状況は

震災による家屋倒壊や土砂災害等の状況下では、要救助者を速やかに救助する必要があるが、電動工具などの資材はどのくらい常備されているか。

### 答 様々な資機材を装備

山崎 消防長

当消防本部は緊急消防援助隊の救助部隊に登録しており、他の本部より若干装備品が多い。救助用資機材は、油圧スプレッター等67品目38個を保有。

## 市営バス

### 問 利用率向上の方策は

市営バスは市民の大切な移動手段であり、特に高齢者には重要である。

利用率の低い路線があるが、利用率向上のためにどのような方策をとっているか。

### 答 様々な取り組みを行っている

岡林 地域支援課長

従来の中型バスでは通行が困難な箇所に対応するために、14人乗りワゴン車を2台購入。

停留所を分かりやすくするために、既存のバス停留所に市バスの丸いマークを12カ所設置。民間バスや鉄道への乗り継ぎを分かりやすくするために、バス停留所の時刻表に、のいち駅と夜須駅を起点とした乗り継ぎ時刻を表示。

市営バスを多くの市民に利用してもらうために、昨年の9月に全戸配布したバス時刻表のパンフレットの中に、医療機関や公共施設のほか、お花見などの観光情報を新たに掲載する等、利用率向上のために様々な取り組みを行っているが、今後も継続

して取り組んでいく。

## ゲーム障害

### 問 利用実態を把握しているか

ゲーム障害をWHO（世界保健機関）は来年5月の定期総会にて、国際疾病に認定し、厚生労働省も中高生の7人に1人が病的インターネット依存であると発表するまでに深刻な事態となっている。

主な症状として、落ちつきがなくなる、多動傾向が見られる、学校への遅刻・欠席の多発や自宅へのひきこもり、不登校等があるが、根本原因であるインターネットの利用実態を本市は調査しているか。また、その結果はどうか。

### 答 実施している

田内 教育次長

市では、27年12月に、市内の全小中学生に情報機器に関するアンケート調査を実施済み。

小学生で携帯電話やスマートフォンを持っている割合は約41%、さらにネット通信ができるゲーム機等は54%と半数以上であり、実際にネット通信をして

いる割合は51%となっている。中学生では、携帯電話やスマートフォンを持っている割合は62%、ネット通信ができるゲーム機等は77%、実際にネット通信をしている割合は70%となっている。

### 問 本市の取り組みは

### 答 保護者・関係機関と連携

田内 教育次長

ネット依存症を抑制する取り組みは、以前より各学校で保健体育科、家庭科等にて、基本的な生活習慣、睡眠・運動・食事等の重要性に関する指導、学習の実施や生活アンケート調査を実施。児童・生徒が自身の生活を振り返り、改善を目指す取り組みを行っている。

また、保護者と連携した取り組みとして、香美・香南地区小中学校PTA連絡協議会による香美・香南ネット宣言を発信し、携帯電話やスマートフォン等の使用方法のルールづくりについて、普及啓発を行っているが、今後保護者や関係機関と連携していく。





## 防災施策



宮崎 晃行議員

**問** 災害廃棄物処理計画策定状況は

環境省は2014年に災害廃棄物対策指針をまとめ、全国の市町村に処理計画の策定を求めてきたが、昨年3月時点で策定の済みの自治体は24%にとどまっている。西日本豪雨の被災地でも計画未策定のため、ごみ処理の初動が後手に回ったケースの報道もあった。

**答** 本年3月に改訂

安岡 環境対策課長

本市の災害廃棄物処理計画は、22年3月に第1版を策定。その後発生した東日本大震災等の災害で、被害が広範囲にわたる、災害廃棄物の処理が大きな問題となった。

そこで、環境省の災害廃棄物

対策指針や高知県災害廃棄物処理計画を参考として、災害廃棄物等の適切な円滑な処理を行うことを目的に、本年3月に災害廃棄物処理計画を改訂した。

今後、発災後の初動や廃棄物の置き場所、収集体制、住民周知の方法、マンパワーの連携等具体的な行動マニュアルの検討と改訂を重ねていく。

また、激甚災害等の場合は、広域的処理が必要であり、民間活力も取り入れた災害協定の締結も検討していく。

**問** 災害協定の現状は

災害協定の具体的な内容としては、食料品や飲料水などの物資供給について、民間の食品業者や小売業者等との連携が考えられる。

本市の災害協定の現状は。

**答** 105の協定を締結

野島 防災対策課長

本年8月末時点で105の協定を締結している。公的機関との協定が15件、民間事業者との協定が90件。民間事業者との協定の内訳は、建設業者等との災害復旧に関する協定が44件、量販店や製造業との物資や飲料水等の提供に関する協定が23件、ホテ

## 健康施策

**問** 男性の相談窓口は

つくば市等では、男性の悩みに男性の相談員が対応する体制がとられている。本市での男性の悩み相談の窓口は。

**答** 健康対策課で対応

伊藤 健康対策課長

健康対策課では、市民の健康問題に関し、男女の区別なく相談を受け付けている。相談内容に応じて、高齢者介護課へつなげたり、福祉事務所を紹介している。男性からの相談内容で多いのが、精神疾患に関することや精神的な不調による生活全般の不安等。電話相談や来所相談、必要であれば訪問等の対応をしている。今後、相談窓口を周知していく。



健康対策課のある赤岡保健センター

## 環境施策

**問** クールシェア導入は

全国的にもクールシェアに取り組む自治体が増えている。本市の導入の方向性は。

**答** 身近な公共施設から

安岡 環境対策課長

クールシェアは、おうちでクールシェア、ご近所でクールシェア、自然でクールシェア、まちでクールシェアの4つの取り組みが基本。

まちでクールシェアはピーク消費電力カット、地球温暖化防止といった当初の目的のほか、熱中症対策、地域の活性化、地域のきずな再生等、一石何鳥もの効果を生み出す可能性がある。

## 福祉施策

**問** 今後の取り組みは

共生型サービスについて、どのように取り組んでいくか。

**答** 支援体制構築を

北村 福祉事務所長

地域共生社会の実現に向けた関係法令の改正が行われ、訪問、通所、短期入所の事業において、児童福祉法、障害者総合支援法、介護保険法のいずれかの指定を受けていれば、他法の指定を受けやすくなる特例が設けられた。

しかし、それぞれの制度の中で、関わる職種や利用方法が異なる部分があり、支援機関も困惑している状況が見られている。共生型サービスの趣旨や当事者本人、事業者へのメリットを整理し、本市の実情に応じた支援体制の構築を検討していく。

# 7月豪雨対策



斉藤 朋子議員

## 問 夜須川の今後の対策は

百年に一度といわれた平成元年の大水害から今年で30年。この間16年、26年、今回と夜須川の氾濫や決壊による相次ぐ被災に夜須町住民は将来が不安でならないが、今後の対策は。

## 答 改修に向けて進んでいる

山本 建設課長

かなり被害を受けた2カ所は土のうを積んでいる。渇水期になると思うが、県からは大きく蛇行している夜須川の3カ所をコンクリートで補強する工事をやっていると聞いている。

また、細川川の入り口は今、大きなコンクリートのブロックで措置している。

なお、河口から1キ口ほど高速道路のあたりまで、去年、平

面測量と縦断測量をやっており、今年もあと1キ口やると県に聞いている。改修に向けての対策は徐々に進んでいる。

## 問 地元住民への説明は

今回の夜須川の復旧工事は、局地激甚災害の指定により予算が付いている。復旧工事に関して、今後の進め方など、地元住民への説明はどうするか。

## 答 地域の人を呼んでの説明はない

山本 建設課長

災害の査定が9月から始まり11月までかかる。災害工事は発注を含めて3年以内で終わらせなければならぬので、地権者の同意を得ながら、順次発注してゆく。

災害復旧は原則、原形復旧で、地権者の了解は得るが、地域の人を呼んでの説明はない。

## 特殊詐欺対策

## 問 当市の被害状況は

今年7月、四万十町の女性が法務省をかたる葉書で1千万円の特許詐欺被害に遭ったが、同

じ葉書が春から私宛てに2通も届いた。25年度から29年度までの本市の被害状況は。また、年齢、男女別の内訳は。

## 答 5年間の被害総額約8736万円

小松 商工水産課長

25年度件数4件、被害総額約1320万円。26年度7件、約5790万円。27年度3件、約350万円。28年度1件、1200万円。29年度2件、76万円。高知県全体の年齢別では29年度を除いて65歳以上が54〜88%。男女別では女性が圧倒的に多く、69〜81%を占めている。

## 問 被害を防ぐ対策は

## 答 注意喚起と啓発活動

小松 商工水産課長

広報誌・ホームページ・防災無線・ケーブルテレビでのテロップ放送等を通じて注意喚起を呼びかけている。さらに今年度からは民生委員会や自治会連絡会、地区の評議会にも出向いて啓発活動を行っている。

また、昨年12月から消費生活相談員を1人配置して、窓口への相談を繰り返し周知してい

る。高知県警察署作成のチラシも貼っていく。

## 認知症対策

## 問 介護認定者数は

本市における介護認定者数と、在宅と施設入所の人数と割合はどうなっているか。

## 答 5月末で1835人

宮崎 高齢者介護課長

介護認定者数は、5月末で1835人。認定調査による区分では居宅は1004人で55%、施設入所は602人で33%、その他は医療入院。

## 問 介護する家族への支援は

居宅介護の中には、認知症でありながら、歩行が達者、サービスの利用を拒む等、家族が共倒れになりはしないかと危惧する事例がある。相談窓口に行つて、支援の方法はあるか。

## 答 包括支援センターへ相談を

宮崎 高齢者介護課長

認知症の行動・心理症状は個人によりさまざまに異なる家族にとつて大変な負担だ。認知症の高齢者本人が介護サービスの利用を拒む場合は、当然家族の負担は相当に重くなるので、包括支援センター等に相談してほしい。

## 問 認知症初期集中支援チーム

29年度から新しく設置されているが、内容と1年間の活動状況並びに成果は。

## 答 支援方法が明確に

宮崎 高齢者介護課長

認知症サポート医や、認知症専門医、包括支援センターの保健師、社会福祉士で構成。月に1度、地域住民やケアマネージャーから相談を受けた事例について、集中的に概ね6カ月間、対象とした家族の支援をしている。

支援が困難だった認知症高齢者への支援方法が明確になった。昨年度対応実績の延べ件数は、電話対応242件、来庁相談88件、訪問対応185件。

## 第2次香南市 振興計画



片山 透議員

### 問 計画の検証方法は

香南市振興計画は、基本構想として、まちの将来像を「水・緑・風が輝く豊かな暮らしと産業で飛躍するまち『香南市』」とし、5つのまちづくり基本理念及びまちの将来像を実現するための6つのまちづくりの基本目標を定めるとともに、終了年度の人口目標を掲げている。

そして、香南市産業振興計画など5つの計画を分野別基本計画として位置づけ、40の個別計画とあわせて分野ごとに計画的に取り組みとしている。

また、基本計画においては、まちづくりの基本目標それぞれに応じた30の基本施策及び18の主な施策を体系立てている。

このように広範に及ぶ振興計

画は、PDCAサイクルにより検証しているのか。

### 答 P D C Aによる 検証と総合評価で

西内 企画財政課長

振興計画においては、分野別の基本計画として、産業振興計画、人生支援計画及び教育振興基本計画のほか、各種個別計画がある。

それぞれの計画の策定委員会等において、PDCAサイクルを用いて進捗状況管理を行い、企画財政課においては、各分野別計画の実績報告などを基に、振興計画実施状況報告書として評価シートを作成する。

作成に当たっては、基本計画に主な施策として位置づけた18の施策・事業全ての成果や課題の捉え方、あるいは次年度へ向けての取り組み内容などの評価項目を検証し、疑問や不十分と思われる点があれば、担当課に確認した上、30の基本施策ごとに総合的な評価を行っている。

## 子どもへの体験学習、 文化・伝統の継承

### 問 データベースの 作成状況は

西内 企画財政課長

本件については、前回定例会において質問したところ、各学校は活動するに当たってのデータは持っていると思うが、学校教育課において作成しているデータはない旨及び推奨したい取り組みについては所属長会において周知しており、それを各学校が参考にして、それぞれの地域に根差した取り組みも実施できるものとする旨の答弁があった。

その際、当方からデータベースを作成することにより、他の学校の取り組みを知ることができる上、県外からの体験型の修学旅行生の誘致、ひいては観光事業、あるいは移住施策にも一役担うことができると考えることから、データベースの作成を検討したいと依頼したが、現在における検討状況を伺いたい。

## 答 体験学習等の支援者 名簿一覧を作成

山本 学校教育課長

現段階では、データベースは作成できていない。

各学校には、体験学習等を依頼する支援者の連絡先を記した名簿があり、これらの名簿を一つにまとめることは、各学校が行っている体験学習や職場体験学習の情報共有し、新たな活動へと発展させていくという意味で有効だと考える。

よって、支援者名簿一覧づくりにについては、作成する方向で考えていく。

### 問 支援者名簿の 作成を

支援者名簿一覧について、本年度中の作成を依頼したいが、可能か。

### 答 可能な限り 早い時期に作成

山本 学校教育課長

支援者名簿一覧の作成作業は、さほど時間を要しないが、掲載するに当たって、支援者の了解を得る必要がある。

その点に留意しながら、今年

度中とは言わず、できる限り早い段階の作成を目指す。

### 問 新たな支援者も 掲載を

山本 学校教育課長

農協、漁協、商工会、各種文化団体等に協力を依頼し、新たな支援者を募り、支援者名簿一覧に掲載してはどうか。

### 答 市内の企業等に 協力を依頼

山本 学校教育課長

掲載する支援者となる個人、企業、団体については、体験学習等を地元地域のことにについて学べる内容にしていきたく思うので、当然市内の企業等に協力を依頼したいと考えている。



## 防災行政



中屋 和彦議員

**問** 豪雨対応の反省点は

7月のゲリラ豪雨に際し、土の積みみや危険地域の通行止め等、本市の対応は。また、反省点を問う。

**答** 避難率約0.8%

野島 防災対策課長

避難勧告等の発令のタイミングは適切であったと考えるが、避難対象者9647人に対して非難者数70人で、約0.8%。住民の避難勧告等に対する理解や受け取り方、気象状況の判断等についても課題が残された。今後においても引き続き危機管理の周知を行っていく。

**問** 河川防災にどう向き合うか

4年前に改修した場所も再度破壊されている。河川の川幅を含め、大規模な改修を求める声がある。

どのように河川に向き合うか本市の考えを。

**答** 状況により随時要望している

山本 建設課長

県管理の河川の維持管理は、土砂の堆積状況により治水上支障がある箇所は県が実施している。各規制同盟会においても、浚渫については毎年県に要望している。

**問** 保水力回復を

森林全体が受け止める保水力が限界にきているのではないか。間伐し、山自体に雨水を貯められるようにしていくべきでは。

**答** 推進していく

村山 農林課長

森林に対する支援制度は森林

の造成及び森林整備の充実等を諮る緊急間伐総合事業がある。

また、来年4月より森林経営管理法が施行され、所有者が不明で手入れ不足となっている森林の場合にも市が経営管理を認定し、経営管理を確保する特例も創設されており、間伐手遅れの解消や伐採等の再造林を推進し、土砂災害等の発生リスクが低減し、地域住民の安心安全にメリットがあると考えている。



香我美町徳王子地区の破損箇所あり水路

## 農業行政

**問** 水路問題

香我美町徳王子地区の水路の現状は破損もみられ、水路からの水漏れにより不自由な思いをしている。

将来この地域が耕作放棄地にならないように本市の考えは。

**答** 施策はある

村山 農林課長

現在、徳王子地区は香宗川左岸土地改良区が事業主体で維持修繕を行っているが、今後、農用施設の更新と事業について、農業関係者組織・土地改良区や水利組合などと協議し、対応できる事業を検討していきたい。

## 教育行政

**問** 経験者率は

各中学校のクラブ担当職員が受け持つ部の経験者である率は。

**答** 市内部活動顧問の経験者65%

山本 学校教育課長

本市の中学校の部活動はサッカー、吹奏楽など20種類、総部活動数33。スポーツ庁が発表している運動部活に限ったの全国における顧問の割合は54%となっていて、本市でもほぼ同じ割合になっている。

**問** 部活動のアウトソーシングの検討を

公立中学校の職員がクラブ活動をサポート、放課後、また、土曜、日曜、祝祭日など、顧問職員の労力は大変なものがあ、本来の教育に注力するためにもアウトソーシング導入を。

**答** 実施市町村を参考に

山本 学校教育課長

現在、本市では事例はない。29年4月から部活動指導員の制度化が新たに規定された。部活動の位置づけと教育的意義等について事例研修を行い、その後も定期的な研修の受講が必要であるため、今後は学校の意見も聞きながら検討していきたい。

## 防災対策



岡本 司議員

**問** マニュアルはできているか

野市防災倉庫の備蓄品の品目と配送マニュアルはできているか。

**答** 物資配送計画の策定

野市 防災対策課長

1万2千人の1日分の食料、飲料水、粉ミルク、毛布、生理用品、おむつ、トイレなど7品目を備蓄。県の物資配送計画との整合性を確保しつつ、青少年センターからの市の定める防災拠点施設である野市防災備蓄倉庫や指定避難所等への物資配送計画の策定を進めていく。

**問** 防災倉庫の配備は

指定避難所や学校等に配備は。

**答** 順次今年から

野市 防災対策課長

防災倉庫と必要な資機材等について地域とも協議を重ねながら、市と地域のそれぞれが構える分をこれから協議していく。指定避難所の運営マニュアルができていくところは、順次今年から整備を進める。

**問** 飲料水の確保は

小中学校や防災コミュニティに貯水槽の整備は。

**答** 順次設置

野市 防災対策課長

避難人数を今把握しているの、必要人数分の水の量が貯水できる貯水槽を順次設置していきたい。

学校には、設置する施設管理者等がいるので、今後そういった具体的な協議を進めていきたい。

**問** 戸別受信機の整備

緊急放送が聞こえないという人への、その後の対応は。

**答** 山間部に点在する世帯に設置

野市 防災対策課長

個人宅への戸別受信機の設置については、屋外子局の放送が聞こえない人や高齢者、聴覚障害者、個人的に設置を希望する人など、幾つかの要件が考えられるが、対応を決めることがまだできていない。

今後、設置に伴う費用負担、また、聴覚障害者に対応できる機器の選定や、設置工事の実施方法など、本年度中をめどに詳細を検討し、ニーズ調査とあわせて方向性を決定していきたい。

## 教育問題

**問** 不登校児童・生徒の数は

**答** 高い発生

山本 学校教育課長

年間30日以上欠席日数がある児童・生徒数は小学校28人、中学校52人。そのうち不登校と認められる人数は小学校が23人、中学校が39人。

**問** 不登校までいかなる児童の対応は

**答** 学校から

山本 学校教育課長

欠席が2日以上続く場合は、学校から家庭に電話で連絡したり、3日以上続く場合は家庭訪問をする等、各学校が工夫して未然防止に取り組んでいる。

また、年間2回、Q-Uを行っており、少しでも学校へ来たいという気持ちが高まろうよう、分析結果を活用している。

【Q-Uとは】  
楽しい学校生活を送るためのアンケート。  
Q-Uを実施することによって、児童生徒一人一人についての理解と対応方法、学級集団の状態と今後の学級経営の方針を把握することができている。

**問** SSC・SSWの活動

スクールカウンセラーの来校回数や、4人のスクールソーシャルワーカーの活動は。

**答** 年間34週

山本 学校教育課長

アウトリーチ型のスクールカウンセラーが、兔田にある教育支援センター森田村塾に、今年

から週1回配置されている。そこを拠点に活動し、家庭訪問をするなど新たな対応が始まっている。

4人のスクールソーシャルワーカーの活動を見てみると、4月から8月までの期間で、家庭訪問がおよそ43回、支援が必要な児童生徒への対応法について、保護者と一緒に病院を訪問した回数が22回、校内の支援会に参加した回数が68回、そして学校外の研修会に参加した回数が23回である。活動日誌を見てみると、子どもに寄り添って学習支援を行ったり、席に着きにくい子どもには声掛けして教室に入るよう促したり、一日中多忙な活動をしている。

**問** スクールソーシャルワーカーの増員は

保護者の時間の都合で早朝から夜にかけての激務と思うが増員は。

**答** 状況を見ながら検討を

山本 学校教育課長

これ以上多忙が重なり、そして、ニーズも高まったときは、学校、関係機関や、各課とも話し合いながら、人員増については検討していきたいと考えている。

## 防災施策



北本 洋介議員

### 問 ドローンの活用

大規模な災害が発生した場合、上空からの迅速な被害状況等の情報収集ができるドローンの活用を考えないか。

### 答 ドローンの活用は有効と考える

野島 防災対策課長

27年6月、高知県UAVネットワークと災害時等空撮協定を締結。本年7月豪雨においても、人命捜索活動や、山腹崩壊による被害規模調査を行った。今後においても、ドローンの機動性・有効性を活用したい。

### 問 ドローンの導入と操作員や、管理等

ドローンを何台購入したか。また、操作等、許可資格の必要性、職員養成はできているか。

### 答 消防署に2機購入

山崎 消防長

機体2機保有している。また、9月現在、安全運航管理者養成の業者選定作業を行っており、10月初めから講習を開始し、6人の操作員を安全管理者養成する予定。

### 問 ドローンの操作に免許や許可は必要か



### 答 飛ばすには免許は不要

山崎 消防長

飛ばすことには免許は必要ないが、本市は飛行場に近いため、飛行許可の申請が必要。技能認定書の発行を受けた操縦者による飛行許可はおりやすい。

### 問 赤バイ隊の認識は

被災状況確認後、「赤バイ隊」の組織は考えていないか。

### 答 認識はある

山崎 消防長

情報収集用のオフロードバイクを使用したバイク隊は、県内7消防団に21台配備されているが、活動実績が少ない。導入するのであれば、消防団で運用が可能かどうか、消防団長等と協議・検討をしたい。

## 産業振興

### 問 内水面漁業の振興策

本市の水産業の振興は、海面（海の水産業）のみだが、26年10月から内水面漁業の振興に関する施策をもって、内水面漁業生産力を発展させる目的を知っているか。

また、本市の内水面漁業の水産振興策はあるのか。

### 答 水産業部会で協議

小松 商工水産課長

26年の内水面漁業振興法は知っている。本市の活性化を進

めるため、香南市産業振興計画があるが、水産分野については海面漁業を中心に議論してきた。今後は、内水面漁業関係者と協議等を行い、水産部会委員として関係者に参画してもらえよう調整する。

### 答 観光に係るのは5施設

寺内 住宅管財課長

30年度に締結した指定管理施設は41施設ある。28年度の数値ではあるが、羽尾林業活動活性化センター2769人。香南市地場産業活性化交流プラザ、地域情報センター1、ヤ・シイ広場の3施設合わせて30万5955人。香南市サイクリングターミナル5117人。赤岡町弁天座9876人。赤岡町絵金蔵8617人。指定管理の主な業務は施設の維持管理であり、概ね協定書に定めた管理運営が行われている。

## 課の編成

### 問

学校給食センターに納入する地元食材を求めらるのであれば、農産物と水産物が同じ課であればよいのでは。

### 答 機構改革の協議の中今後検討する

小松 総務課長

新庁舎に全課が集まることをふまえて、現在協議している。協議の中、観光・水産・農林分野の見直し、土木部門の統合、健康・福祉・高齢者部門でのサービス向上のための見直しなどの意見が出ている。

## 指定管理

### 問

本市が指定管理を委託している施設は何力所あるか。

また、観光に係る施設について、利用者数と運営状況を聞く。

# 教育条件整備



樽本富佐子議員

## 問 小中学校に エアコンを

来年度全教室に設置するため  
にどのような計画になっている  
か。

## 答 具体的な計画を 検討

田内 教育次長

10月に実施設計を発注し、国  
の交付金の動向を踏まえながら  
進めていく。

## 問 教職員の多忙化の 実態とその解決策

加配教員の未配置があるので  
は。教職員の長時間勤務をどう  
解決していくのか。

## 答 定数改善を 要求していく

安岡 教育長

2校で未配置があり、できる

だけ早く配置したい。超過勤務  
は他の業界とくらべるとはるか  
に高い。登庁・退庁時刻を数値  
的に把握し、調査などの軽減に  
努める。

## 問 全国学力学習状況調 査を見直す必要性は

学力テスト対策が多忙化に拍  
車をかけていると思われる。高  
知県版学力テストや標準テス  
ト、その対策に多くの時間を費  
やしている。学ぶ喜びの持てる  
授業時間が確保できるよう、学  
力テストに参加しないことも含  
め、何らかの改善策があるので  
はないか。

## 答 有効に活用して いきたい

山本 学校教育課長

授業展開や内容の見直し、児  
童生徒の生活習慣の改善のきつ  
かけとして活用していきたい。

## 岸本小・ 香我美小統合

## 問 岸本小への 人員配置

来年度からの単式授業に備え  
て、複式学級を解消するための  
教員の配置をお願いする。

## 答 財政上困難である

山本 学校教育課長

岸本小の教職員・児童への負  
担軽減や、香我美小との連携に  
配慮し対応していきたい。

## 問 岸本小の放課後 子ども教室の整備

子ども教室が存続されるのは  
意義あることだが、閉校後の校  
舎使用となるので、責任の所在  
や設備面でのような配慮をし  
ていくのか。

## 答 運営に支障がない よう整備する

山下 小中課長

改修に取りかかり、準備が整  
い次第移転する。  
改修にあたっては、老朽箇所  
や設備の点検をしっかりと行い、  
運営に支障がないよう整備する。

## 高齢者の 支援体制

## 問 高齢者への 支援計画

介護認定は受けていなくて  
も、不安を抱えて生活している  
高齢者は多い。高知市社会福祉  
協議会が行っているようなサ  
ポート事業の計画を問う。

## 答 事業化していくか 検討する

宮崎 高齢者介護課長

身寄りのない人の入院の手続  
きは、包括支援センターが関  
わっている。葬儀や納骨は死後  
事務委任契約があるが、あまり  
活用されていない。相談があれ  
ば個別に対応し、記録に残して  
いる。

## 公園の新設

## 問 野市小学校校区に 公園の新設を

ベビーカーやシルバーカーで  
気軽に行くことのできる公園が  
市役所や小学校周辺に欲しい、  
という声は多い。子どもたちも  
高齢者も憩える公園を造る計画  
はないか。



## 答 新設整備は難しい

山本 建設課長

都市計画マスタープラン策定  
の際のアンケートや子ども議会  
で、市民にも子どもたちにも野  
市の町中に公園をという声があ  
ることは承知している。用地費  
や周辺整備費など多額の費用が  
かかるので難しい。

## 新庁舎の 施設設備

## 問 職員の職場環境 の充実

労働安全衛生法には「快適な  
職場環境の形成を促す」とある。  
新庁舎には職員の専用スペース  
が確保できないか。健康相談室  
のそばの会議室が職員専用の休  
憩室にならないか。

## 答 共有スペースが 使用できる

寺内 住宅管財課長

レイアウトや設備を検討し、  
職員アンケートやヒアリングも  
行っている。会議室は、時間設  
定をして食堂としたり、給湯室  
を広めにしたりして休みたいと  
き使えるようにしている。

## 災害対策



土居 りえ議員

### 問 山から流れ出る水への対応策は

7月豪雨で人的被害が起こったとされる福万地区の道路沿いには川沿いに面してガードレールが設置してある箇所と設置されていない箇所がある。

また、山から流れてくる大量の雨水が道路を横断して流れているが対応は。



危険箇所の1つ

### 答 県に要望する

山本 建設課長

特に福万地区でガードレールが切れたところがある。ガードレールは基本的に道路の高さが2メートル以上や、隣接する側溝の幅が1メートル以上の基準もあるが、側溝も含め現場を調査し、県に要望していく。

### 問 高齢者や避難弱者への対応は

全国的に高齢者など、災害時の移動困難者の避難のあり方が課題になっているが本市の取り組みは。

### 答 要配慮者班を編成

野島 防災対策課長

市災害対策本部の組織体制には要配慮者対策を実施する要配慮者班を編成し、周囲に支援者等がないなど、避難が難しい人には公用車等での移動支援等を行っている。

避難後の避難所では指定避難所の中に福祉避難スペースの確保、指定避難所での生活が困難な人には福祉避難所を開設するなど、配慮が必要な人が過しやすい場所の提供を行っている。

### 問 今後の課題は

災害時の避難弱者に対する取り組みを進める中で課題や改善策は。

### 答 個別計画の作成

野島 防災対策課長

現在、本市では災害対策基本法の改正により義務づけられた避難行動要支援者名簿を作成し、この名簿の作成にあわせて個々の具体的な避難に関する個別計画の作成に取り組んでいる。

今後、全ての要支援者の個別計画を早期に完成させ、地域の支え合いの中で、全ての避難行動要支援者の人が避難できる体制づくりを構築していきたい。

## 保育所運営

### 問 適切な採用人数であったか

どのクラスにも正職員を配置するために、今年度から始まった任期付職員の採用であるが、年度の途中で産休育休に入る職員が出た場合、臨時職員が担任をするという事例が出ている

が、任期付の採用人数は適切であったのか。

### 答 適切な人数であった

山下 ごとも課長

任期付職員の採用に当たっては、本年度に育児休暇を取得する予定の職員を2月の時点で調査を行い、その結果に基づき、5人を採用している。採用人数については、適切な人数であったと考えている。

調査時点以降に育児休暇を取る必要がある職員が出てくる可能性については、予想はできていたが、不確定なことに対して余裕を持った職員採用は職員定数や財政的な問題もあり、できないと考えている。

### 問 臨時保育士に手当は

臨時保育士がクラス担任をするようになった場合、本来の臨時保育士の職域とは違ってくるが、特別な措置として何らかの手当が支給されるのか。

### 答 今のところ考えていない

小松 総務課長

担任手当については、現在のところ近隣市でも支給しているところはない。新たな手当を創出するには、根拠や財源等を十分検討する必要がある。本市においては、資格の有無での賃金の差はつけているが、今のところ担任手当の創設については考えていない。

### 問 保育士の休憩は

保育士が十分な休憩が取れていないという現状をどのように改善していくのか。

### 答 確実に休憩を取れるよう改善

山下 ごとも課長

休憩時間中は昼礼や職員会などを原則行わないこととし、園全体の業務体制の見直しを行っていきたくと考えている。

また、職場の雰囲気や休憩を取りにくいと感じる職員も多々いると考えられるので、所長や園長は休憩を確実に取るよう職員に促し、職員間でも積極的に休憩を取るよう声をかけ合うような取り組みを進めていきたい。



## 防災支援



濱口 涼子議員

### 問 聴覚障害者への防災対策支援

聴覚・視覚・身体等それぞれの障害や状況により防災対策を進めなければならないが、まず今回は聴覚障害者への防災対策支援について問う。

### 答 幅広い情報伝達に努めている

野島 防災対策課長  
現在、本市が発信している情報の伝達方法は防災行政無線のほかに、香南ケーブルテレビによる文字放送、市ホームページへの掲載、携帯電話やスマートフォンで受け取れる登録制のメール・エリアメール配信を行っている。

### 問 個別の支援は

安芸市の聴覚障害者向け各戸文字で見える防災無線のような個別の支援は考えているか。

### 答 今検討を始めています

野島 防災対策課長  
聴覚障害者も含めた他の障害者、あるいは高齢者に対応した伝達手段を具体的にどのようにするか検討は始めている。今年度中に各種ニーズ調査も含めたことを行う考え。

### 問 避難所の対応を

### 答 避難所運営マニュアル整備を行っている

野島 防災対策課長  
津波浸水区域外の指定避難所には運営マニュアルの整備を行い、施設ごとに要配慮者スペースを確保する。

地域の自主防災組織、PTA、施設管理者及び職員、消防員などで構成した避難所マニュアル準備委員会を設置し、マニュアルが完成した施設では、けが人、障害者、妊婦、外国人などへの適切な受け入れについ

て訓練している。

### 問 避難所要支援者の個別計画の状況は

### 答 順次取り組んでいる

北村 福祉事務所長  
6月29日時点で避難行動要支援者が783人いるが、情報を地域の避難支援等関係者へ提供することに同意している人が8月29日時点で363人いる。今現在その中で個別支援計画が作成されているのが2人であり、今後も順次進めていく。

### 窓口対応

### 問 手話通訳可能な職員の数は

### 答 0人

小松 総務課長  
手話通訳の研修を受講した職員はいるが窓口で対応できるレベルではない。

### 問 聴覚障害者への対応は

### 答 筆談と丁寧な対応で

恒光 市民保険課長  
目的が伝わるかどうか不安を抱えて来庁されていると思うが現在は筆談と丁寧な対応で来庁の意図をくみ取っている。

### 問 筆談が苦手な人もいる

不安を抱えて来庁していると分かっているのに手話でコミュニケーションを取るべきではないか。

### 答 手話教室の開催があれば受講を促す

恒光 市民保険課長  
あいさつ程度の会話でも職員ができれば安心感を与えることができるので、今後は手話教室などの開催の機会があれば参加を促す。

### よさこい連合会

### 問 活動は

香南市こどもよさこい連合会の活動を問う。  
高知県の文化継承も踏まえて

積極的に取り組むべきではないか。

### 答 有意義な体験の場として取り組む

田中 生涯学習課長  
子どもたちに高知の文化を伝えるためにもよさこい祭りに今後も参加できるよう安全面に配慮し、子どもたちが楽しく踊れる有意義な体験の場として取り組んでいく。

### 問 市長も参加を

### 答 検討する

清藤 市長  
酷暑であったため、体力、健康面を心配していたが、子どもたちの表情はいきいきとしていい体験になったのではないかと。来年は現場へ行くことも検討したい。



# 人権問題



馴田 文雄議員

## 問 強制不妊手術 見解は

旧優生保護法のもと、のぞまない不妊手術や人工妊娠中絶が行われてきた。被害者の訴えをきっかけに今年になり大きく報道されている。市長の所見は。

## 答 多くの障害者と 家族を苦しめた

清藤 市長  
たぐさんの障害者とその家族を苦しめ、悲しませる結果になったことは否めないと思う。

## 問 市の障害者 雇用率の状況は

本来ならば障害者の雇用を推進し、民間企業をリードしていくべき官公庁で、障害者雇用の水増しが行われていたことが明らかになった。本市の状況は。

## 答 障害者手帳で確認

小松 総務課長  
本市の障害者雇用率は市長部局が1.24%、教育委員会が4.4%で、市長部局では法定雇用率が達成できていない。雇用率に算定されている障害のある職員の確認については、全員障害者手帳で確認している。

## 問 「LGBT生産性 ない」寄稿 見解は

ある国会議員が雑誌への寄稿の中で、「LGBTのカップルのために税金を使うことに賛同が得られるものでしょうか。彼ら彼女らは子どもをつくらない、つまり、生産性がない」などと述べて、多くの人から厳しい批判を受けている。市長の見解は。

## 答 基本認識不足

清藤 市長  
差別の現実を無視した差別的論稿であるが、それ以前に国会議員としての基本認識不足、あるいは品位の問題であると思う。

## 問 人権尊重の社会 どうつくるか

「人権教育・啓発推進計画」にうたわれているような、「全

ての人々が平和で豊かな生活を送ることができる社会」をどうつくっていくか。

## 答 3つの点を重視

清藤 市長  
次の3点を重視し実行したい。  
1点目は、さまざまな場所や現場に出向き、そこで、子ども、女性、高齢者、障害者など、いろいろな人々とかかわり、思っていることや考えなどを聞き、肌で感じながら施策へ反映していくこと。  
2点目として、市民が等しく豊かな生活をするために、所得の再配分をする社会保障の仕組みを皆が理解すること。  
3点目としては、市人権教育研究協議会での研修会や人権フェスティバルなどあらゆる研修の機会などを通して、たゆまなく啓発活動を進めていくこと。

## 問 パートナリシップ 制度検討を

LGBTをめぐっては、同性カップルに対してパートナリシップ証明書を交付するなどのパートナーシップ制度を導入する自治体があふえている。本市でも検討を。

## 答 婚姻と 同証明でない

岡本 人権課長  
導入している自治体では、制度を通して、性的マイノリティーの人たちが抱える生きづらさの解消につなげている。全国的に導入は非常に少ない状況だが、先進事例を研究し、検討したいと考えている。

## 元号問題

## 問 西暦使用を

行政文書において元号を使用しているものが多くみられるが、改元の際の問題などもある。西暦に改めるべきでは。

## 答 慣例で 公用文に元号

小松 総務課長  
全国自治体で西暦併記が拡大している。県内近隣自治体でも検討しているとのことなので、混乱のないよう配慮しつつ、可能なところから併記も検討したい。

## まちづくり

## 問 ブロック塀の 耐震化

6月の大阪北部地震でもブ

ロック塀倒壊による死者が出ている。本市のブロック塀耐震補助制度の状況は。

## 答 上限は20万5千元

野島 防災対策課長  
避難路に面したブロック塀を対象で、20万5千元を上限に補助をしている。

## 問 水路改修に補助を

いわゆる青線水路について、現状では農業利用以外は改修への補助がない。そもそも所有権は市にあるはずで、本来、改修については本市がするのが本筋。予算の関係もあり現実には市が全部工事するというのは困難かもしれないが、住民に任せるとすれば、補助をすべきでは。

## 答 検討する

山本 建設課長  
宅地内水路の老朽化や豪雨・台風による災害もあるため、以前から補助制度創設については検討をしている。ただ、財政面や補助金の相手方をどうするかなど、課題も多い。すでに制度のある香美市なども参考にしながら、検討していきたい。

# 生家保存 修復を願う



眞辺 慶一議員

## 問 生家修復に対する 思いを聞く

森田正馬生家は、住宅として使用されていたものを、旧野市町が顕彰・保存するため89年に買収された。

本年は、没後80年に当たり、7月15日、のいちふれあいセンターにて、主催・森田正馬没後80年記念事業会、共催・高知県、香南市、高知新聞社、日本森田療法学会はじめ多くの共催者、後援・高知市、高知県医師会はじめ多くの後援者を得、30人の市民が集まり、墓前祭が行われた。

また、午後には県民文化ホールにて約1千人の人が集まり、記念講演会が行われた。  
没後80年の墓前祭、記念講演を終えた今、市長の生家修復に對する考え方を問う。

## 答 早急に検討し決定

清藤 市長

没後80年記念事業を盛大に開催することができた。森田療法への多くの人の関心や、ニーズがあったからだと思う。

そして今、多くの団体の協力が得られる状況なので、生家保存の具体的な位置づけや使い方を早急に検討し決めていく。



兎田 森田正馬生家(玄関)

## 問 心の健康都市 宣言を

この香南市を心の健康都市と宣言し、日々の営みの中に、心の健康理念を織り込み、激しい怒りや躁鬱症、恐怖症、強迫症、不安症、不登校、引きこもりな

どの少ない、できればない。

そして日々の暮らし、日常の業務や事業の中に達成感や多くの幸福感を得られる、そんな香南市に向かってほしいと願うが、市長の考えは。

## 答 業績活用が 市の務め

清藤 市長

現代社会において、うつ病対策は大きな課題で、この森田療法を活かしながら行政施策として反映していくことは、ぜひやらなければならない。

本市は森田正馬の生誕地なので中心となって取り組んでいきたい。

具体的な方法は勘案中である。専門的な関係者の意見・アドバイスをいただき施策、政策として具体策を検討していく。森田療法は、80年たった今でも脚光を浴びている。

そんな偉人を本市が輩出したことは郷土の誇りである。森田療法をはじめとする森田正馬の業績を活用することが本市の務めである。

## 問 生家の現状 どう認識

生家は建築後相当の年月がたっており、経年劣化が進み、



兎田 森田正馬生家(庭から)

雨漏り、天井、床、外壁の損壊等が見られ、これまでの部分的な修繕では修復不可能な事態になりつつある。早期の耐震修復保存が必要と考えるが、生家の現状をどう認識しているのか。

## 答 修繕に取り組み

清藤 市長

生家の保存は、シンボリックな位置づけをする必要がある。今の状況を一度正確に把握し、必要な修繕に取り組む。

所管が教育委員会なので、関係者で協議をしてほしい。

## 答 地域の誇り

田中 生涯学習課長

森田正馬は、野市町兎田に生まれた精神医学者で、地域の誇りだと考えている。

生家は、雨漏り、樋の破損など修繕は行ってきたが、行き届いていないのは認識している。

今後は、森田正馬生家保存を願う会などと修繕・保存が続けられるよう、利活用計画など含め話し合いを進めていく。

### 森田博士のプロフィール



森田正馬博士

森田正馬博士は、明治7年1月18日、富家村兎田で生まれた。明治36年に東京帝国大学医学部精神科を卒業後、東京慈恵会医学専門学校(現・慈恵医大)の教授となり、以後35年間、病

院精神医療の体制づくりと診療に尽力した。

また、東京根岸精神病院長を歴任し、昭和13年4月12日、肺結核症のため64歳で亡くなった。

兎田にあった「森田館」は、森田博士が当時の富家村に寄贈したもので、昭和11年4月4日に完成、工費は、当時の金額で4千円であった。

現在は、野市町土佐風保存同好会が使用している。

# 粗大ごみ券売機 売上手数料



上田 龍雄議員

## 問 誤答弁だったか

本年6月議会一般質問で、本庁舎設置の粗大ごみ券売機の処理手数料について、27年度収入に、47万7700円の不明金があると指摘したが、その際、担当課長は、券売機の売り上げを記録したジャーナルの前後の日付は整合性がとれている旨主張し、不明金の存在を否定した。しかし、その答弁は誤りだったと思うが、誤答弁だと認めらるか。

## 答 誤解を与えたこと をお詫びする

安岡 環境対策課長

27年度の不明金については、上田議員の6月一般質問での指摘で判明した。質問を受けた時点では、累計クリア日時の連続性を見ていたため、ジャーナルの日時は整合性がとれていると

答弁したが、市民に誤解を与えたことをお詫びする。

## 問 整合性検証の結果は

その後、メーカーの担当者に対し、日付がなぜ整合していたか検証したか。

また、その結果は。

## 答 時間操作した可能性はある

安岡 環境対策課長

議員の指摘を受け、メーカー担当者立ち会いの上検証したところ、日付・時間を操作することは可能であることが分かった。

## 問 本来、市が チェックすべき

今回の不明金は、私が情報公開請求して、調定票などの記録を取得の上、突合作業をした結果判明した。もし私が精査しなかったら47万7700円という不明金は闇に消えていたと思う。関係課においてなぜチェックできなかったのか。

## 答 反省している

安岡 環境対策課長

今回のことは、早く気づくべ

きだったし、確認もすべきだったと、大変反省している。

## 問 市長も誤答弁 だったのでは

同様に、市長は6月議会で、不明金の説明ができていないこととはない。関係者の聞き取り調査でも矛盾はない。などと強調し、不明金もない旨答弁した。しかし、今議会冒頭で、一転、不明金の存在を認めましたが、6月議会の答弁が誤答弁だったのでは。

## 答 その時点では 把握してなかった

清藤 市長

6月議会で、不明金の説明ができていないことはないといいますが、これは28年度、29年度のことを言ったのであり、上田議員からの指摘で、27年度の券売機の売上金額に不足があると初めて分かったもので、その段階で不明金があるとの認識は持っていなかった。

## 問 被害届を出すべき

不明金47万7700円は窃盗罪、また、40万9230円を会計処理せず、自己が排他的に支

配する機の引き出し奥に隠した行為は業務上横領罪に該当すると思う。いずれも10年以下の懲役の重大犯罪だ。なぜ被害届を出さないのか、また、担当者を業務上横領罪で告訴すべきと考えるがどうか。

## 答 警察に 相談している

田内 副市長

被害届や告訴については事件性も疑われることから、届け出を前提に、6月27日に南国警察署に相談している。既に捜査は始まっており、市としても早期の全容解明に向けて捜査に全面協力している。

## 問 決算の事前調査は

28年度決算見込み金額について企画財政課からの調査が事前にあったと思うが、その報告金額に問題の40万9230円は含まれていたか。

## 答 含まれていない

安岡 環境対策課長

28年度決算見込みについて、29年4月14日付で手数料決算見込み額147万6880円と報告し

ているが、券売機の方が入っていないかった。見抜かっていたことに、担当課長としても責任を痛感している。

## 問 市長の責任は

この不明金の発生や不適正処理は、市長をはじめ関係幹部の管理監督機能の不全、組織としての不祥事防止対策の不備などがもたらした必然の結果と言える。市長には、なすべきことをなさなかった不作為の過失責任がある。トップとしての責任を認めるのであれば、潔く自らを罰する姿勢を市民の前に明らかにすべきだ。

## 答 全容解明を 最優先

清藤 市長

全容が解明された段階で、関係職員のみならず処分並びに自分自身の責任についても当然判断しなければならぬ。あわせて、二度とこのような不祥事が起こらないよう、再発防止策を確立することが私の責任であると考えている。

### 勤務実態



西内 治水議員

**問** 元環境対策課職員の時  
時間外勤務は条例どおり  
上司の命か。

**答** 所属長の命で  
本人が申請  
小松 総務課長

所属長が命令し、勤務終了後  
本人が報告、所属長が確認。し  
かし、仕事が終わらない場合、本  
人が申請し許可する場合もある。

**問** 休日出勤はフレック  
クスタタイム制か

午後出勤、そして残業・深夜・  
翌日勤務・コスト意識の欠如で  
ないか。

**答** 休日出勤で深夜まで  
の事例も数件ある  
安岡 環境対策課長

今後は提出期限があり休日勤  
務が必要な場合でも、深夜にな

らないよう注意喚起する。  
また、コスト意識は常に念頭  
におく必要があり今後取り組む。

**問** 承認者のコメント

申請一覧の承認者コメント欄  
に全く記載なし。一字一句書か  
れていない。注意喚起が必要で  
ないか。

**答** 記入なしが現状  
小松 総務課長

コメント欄機能があるので、  
今後は一定活用し管理をしてい  
く。

### 夜須川全面改修

**問** 地権者の同意必要

平成元年に県が提案した改修  
を夜須町が断った経緯がある。  
過去に陳情の席で、蛇行の修正  
と現状での拡幅した図面が出さ  
れた。そのような図面があれば  
地権者との話し合いに必要。

**答** 地元の工事に協力  
する体制が必要  
山本 建設課長

以前の図面はおそらく航空写

真を基に作ったもので正確でな  
い。県は29年から用地測量を行  
い、今年も上流の測量を行う。

**問** エゴ川水門に大型配  
水ポンプ設置等を

豪雨・台風等で地域は浸水被  
害が頻発、潮位上昇で汽水域の  
内陸化自然排水は、もはや限  
界。全面改修時に支障のない設  
計で対策を県に要請を。

**答** 大型配水ポンプは  
市の内水対策  
山本 建設課長

県は改修計画等で必要なら検  
討で市も同じ考え。ポンプ設置  
の場合、当然指摘の遊水池も要  
る。総合的に判断し検討する。

**問** 改修が採決されて  
も20〜30年かかる

全面改修に支障のない方法、  
調整池は大峰の教育委員会跡地  
がある。

**答** 川幅を広くしても  
解決にならない認識  
山本 建設課長

ポンプは必要と考えるが、あ  
る程度設計が進むなかで状況に  
よって、水門の改修が必要であ  
れば検討していく。

**問** 氾濫・越流する堤防  
を矢板工法で対応を

地元住民から提案をもらっ  
た。改修時に引き抜けば低コス  
ト。改修時に影響もなく越流浸  
水も防げる。

**答** 越流域は大型  
土のうで対応  
山本 建設課長

県内には矢板で施工している  
所もある。夜須川は広域なため  
県は考えていない。市は状況を  
みながら必要な要請はする。

**問** 河口は7基の  
橋脚で閉塞状態

サイクリング道の橋を撤去す  
れば3基の橋脚が不要。迂回し  
臨港道を通れば影響はない。

**答** すぐく過密

山本 建設課長  
県は現状で再編・廃止などの  
計画にない。しかしサイクリン  
グ道は迂回も可能。改修時には  
そのような話もできると思う。市  
からも話していきたい。

### 一時避難タワー 建設

**問** ハザードマップ候補  
地と明記(保存版)

24年津波ワークショップで議  
論を重ね決めている。つまり請  
願以前の問題。公民館利用者年  
2万6千人。地区住民の超高齢  
化、歩行困難者の生命を守るた  
め早期の建設を。地区を差別し  
ているのでは。議員に在籍する  
限り建設するまで質問を行う。

**答** 現時点で  
建設予定なし  
野島 防災対策課長

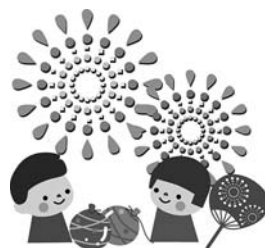
公民館利用者は運動広場を避  
難所として訓練をしている。住  
民が安全に避難できる場所とし  
て6区右岸タワー、観音山、坪  
井神社、行間・菖蒲谷団地、運  
動広場を想定している。



香南市津波ハザードマップ⑥【夜須町】

## 各委員会の開催状況

【8月】



10日  
**公金の会計処理に関する調査特別委員会**  
 (粗大ごみ処理手数料の公金管理及び会計処理に関する事項等)

23日  
**議会運営委員会**  
 (意見書の取り扱い・陳情書の取り扱い・新庁舎議場システム整備事業等)

29日  
**公金の会計処理に関する調査特別委員会**  
 (粗大ごみ処理手数料の公金管理及び会計処理に関する事項等)

29日  
**議会改革調査特別委員会**  
 (新議場システム整備に伴う行政視察研修等)

【9月】

13日

**決算審査特別委員会**  
 (正副委員長の互選等)

**産業建設常任委員会**

(第80回定例会付託議案審査1件等)

**教育民生常任委員会**

(第80回定例会付託議案審査7件等)

21日

**議会運営委員会**

(第80回香南市議会定例会の追加提案等)

【10月】

29日

**議会改革調査特別委員会**

(新議場システム整備に伴う行政視察研修等)



## 決算審査特別委員会設置

平成29年度香南市一般会計決算認定から、平成29年度香南市工業用水道事業会計決算認定までの11件については、議長と議会選出監査委員を除く17人をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することになった。

委員長

眞 辺 慶 一 議員

副委員長

濱 口 涼 子 議員

## 議会を傍聴してみませんか

議員の活動や市政方針についての議論などを、実際に見聞きされてみてはいかがでしょうか。個人でも団体でも自由に傍聴できます。

なお、傍聴にあたっては、傍聴席入口にて、受付票に氏名と住所の記載をお願いします。

## お知らせ



## 12月定例会の開催予定

- 12月4日(火)  
 9時30分から市長の諸般報告・議案審議
- 12月11日(火)・12日(水)・13日(木)  
 9時30分から一般質問
- 12月14日(金)  
 9時30分から議案審議・付託・委員会審査
- 12月17日(月)  
 9時30分から委員会審査
- 12月21日(金)  
 9時30分から委員長報告・議案審議・採決・閉会

## 市議会だよりについて

市議会だよりは、誌面の都合上、概要を掲載しています。よって、現時点では議案質疑に質問議員名を記載していません。

市議会だよりの内容について詳しく知りたい場合は、「香南市議会会議録」を閲覧できます。「会議録」には、質問を行った議員及び市当局の答弁のすべての状況が記録されています。

また、香南市議会のホームページに「議事録検索システム」機能がありますので、ご利用ください。

不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

TEL: 57-8513

(※会議録は、会議終了後、約3カ月後までに、作成及び掲載しています。)

## **議会だよりの写真を募集します**

香南市議会では、年4回（6月、9月、12月、3月）「こうなん市議会だより」を発行しています。これまで以上に皆さまに親しんでいただきたく、市民の皆さまが撮影された写真を募集いたします。あなたの写真が表紙を飾るかも。ご応募お待ちしております!!

**【応募規定】**

- (1) 応募者本人が、市内において撮影した未発表のもの。組み写真、合成写真は不可。
- (2) デジタルデータ(JPEG形式)で提供できること。
- (3) 人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けたもの。被写体が中学生以下の場合は保護者の承諾を受けてください。イベント等で多数の被写体が撮影されている場合は、個人特定性の低い風景写真とみなし、この限りではありません。
- (4) 個人の所有物を被写体とした場合は、所有者の承諾を受けたもの。

**【応募方法及び応募先】** 下記申込書を添えて、次のいずれかでご応募ください。

●メールで応募する場合

下記応募先まで申込書の内容を添えてメールにて添付送信してください。

●持参で応募する場合

「応募写真」が入ったUSBメモリ等の外部記憶媒体を議会事務局へ持参してください。

※デジタルデータ形式であれば郵送での応募も可能ですが、データは返却しません。

**【応募先】** 香南市議会事務局（香南市役所 3階）

〒781-5292 香南市野市町西野2706

TEL：(0887) 57-8513

mail：gikai@city.kochi-konan.lg.jp



**【注意事項】**

- ★採用された作品の使用権は、こうなん市議会だより編集委員会に帰属します。
- 肖像権に関する責任はすべて応募者に属することになります。  
また、使用に当たりトリミング等加工させていただく場合がありますので、ご了承ください。
- ★ご応募いただいた写真は編集委員会にて選考させていただきますが、掲載を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 採用者へは（写真内容の確認も含め）発行日までにご連絡します。



キリトリ線



### こうなん市議会だより 写真応募申込書

応募者氏名	フリガナ	
住所		
連絡先	TEL	
	E-mail	
写真タイトル		
備考(コメント)		



赤岡小学校4年生による絵金歌舞伎体験(弁天座)

## 編集後記



### 『矛盾』

全国初の太陽光発電停止指  
示に「なぜ」と多くの人が疑  
問を感じたはず。

国は再生エネルギー基本計  
画で、2030年の電源構成  
比22〜24%の再生主力電源  
化を打ち出している。

九州の再生比率は16%程  
度、九電は火力発電の制御及  
び他地域に送電しても昼間の  
電力過多で天下の宝刀を抜い  
た。

課題は再生エネ事業者、国  
の再生エネ対策に影響は必至。  
温室効果ガスの排出削減の  
目玉である火力発電の限界ま  
での制御、原発(玄海・川内)  
制御、大容量の蓄電池の開  
発、送電線の全国ネットワー  
クに取り組みべきでは。

日本の原発は42基でアメリ  
カ99基、フランス58基に続く  
世界3位だが、面積比では1  
位である。

また、再処理済みプラトニ

ウム47t保有、原爆換算6千  
発。原因はプラトニウムを燃  
料とする高速炉(もんじゅ)、  
2016年12月に廃炉となり  
青森県6カ所村の再処理工場  
が稼働すれば年8tのプラト  
ニウムが再処理される。

世界でも注目されるプラト  
ニウム保有国でテロ対策も課  
題。

また、世界初の原爆の被爆  
国でありながら、核兵器なき  
世界「核兵器禁止条約」に参  
加もしていない。世界の笑い  
ものになっている。ムジユン  
だらけ。

身近では県産森林が余りな  
がら、のりの匂うCLT材の  
利用推進、ヘッドホンや鳴子  
の板では消費につながる  
い。美しい木目で気の香る建  
築推進で大工の匠の継承が必  
要ではないか。

H・N

